

鶏卵生産等のアンケート 調査結果について

令和7年(2025年)年3月
(一社)日本養鶏協会

【目次】

鶏卵生産等のアンケート調査結果について

1	アンケート回収状況	1
2	生産・出荷販売の計画	2
3	ひなの導入予定	3
4	成鶏の飼養期間と誘導換羽	4
5	鶏卵の販売価格について[取引方法（現状・今後）、希望通りに価格転嫁できているか]	5
6	飼養羽数の増減予定	6
7	販売先の計画（テーブルエッグ）	7
8	販売先の計画（加工産業向け）	8
9	販売先の計画（外食産業向け）	9
10	販売先の計画（輸出向け）	10

アンケート調査の概要

※ 本調査は、令和5年10月21日から実施しており、今後の需給の動向により、意向に変化が生じる可能性があることに留意

1 アンケート回収状況

- 鶏卵生産者経営安定対策事業加入生産者593名に調査をおこなった。

調査方法は、アンケート用紙を郵送し、FAX・郵送にて回収した。

- 調査項目

たまごの生産・出荷計画、販売状況等

飼養状況(ひなの導入、誘導換羽、成鶏更新参加)

今後の予定(飼養羽数の増減、販売先の計画)

- 回収:257名(回収率:43%)

全 国257名(100%)

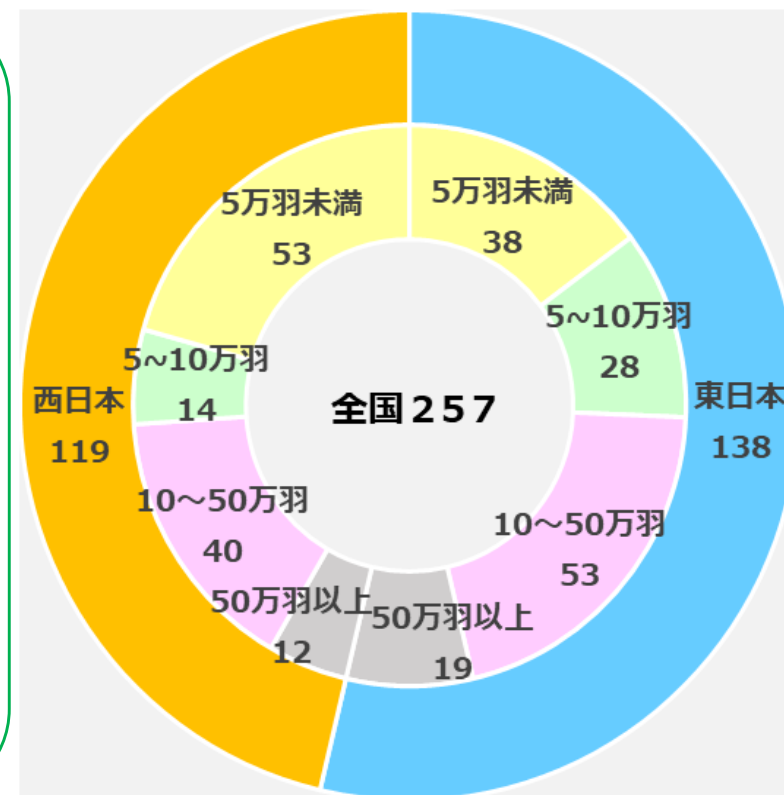
[5万羽未満:91名、5～10万羽未満:42名、10～50万羽未満:93名、50万羽以上:31名]

東日本138名(54%)

[5万羽未満:38名、5～10万羽未満:28名、10～50万羽未満:53名、50万羽以上:19名]

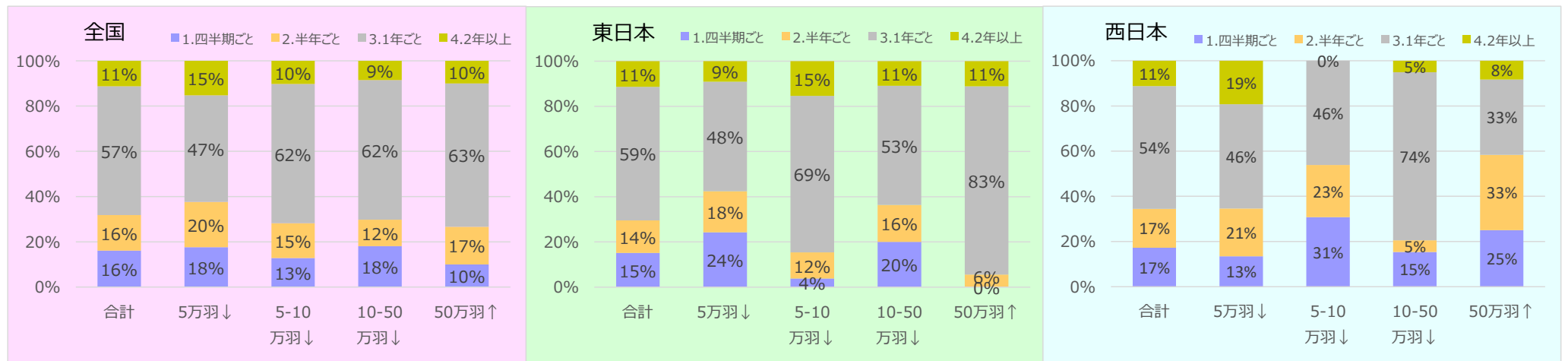
西日本119名(46%)

[5万羽未満:53名、5～10万羽未満:14名、10～50万羽未満:40名、50万羽以上:12名]



2 生産・出荷販売の計画

- 生産・出荷計画について、全国の飼養規模全体では、「四半期ごと」が16%、「半年ごと」が16%、「1年ごと」が57%、「2年以上」は11%、の回答となった。
- 地域別では、西日本のほうが「四半期ごと」および「半年ごと」の割合が高く、東日本よりも短期で計画を立てている回答になった。



3 ひなの導入予定

- 年間導入回数は、**全国平均6.0回(東日本平均6.7回、西日本平均5.6回)**の回答となった。
ひなの購入予約は、**全国平均は導入の10.9カ月前(東日本平均:導入の11カ月前、西日本平均:導入の10.8カ月前)**の回答となった。
- 成鶏の飼養日齢は、**全飼養羽数平均644日(5万羽未満:609日、5～10万羽未満:627日、10～50万羽未満:670日、50万羽以上:694日)**の回答となった。
- 成鶏出荷後の空舎期間は、**全飼養羽数平均31.3日(5万羽未満:33.5日、5～10万羽未満:32日、10～50万羽未満:29.8日、50万羽以上:282日)**の回答となった。

(1)年 間 導 入 回 数 : 全国平均 : 6.0 回 (最大 6 0 回～最小 1 回)

①東日本平均 : 6.7 回 (4 1 回～1 回)

②西日本平均 : 5.6 回 (6 0 回～1 回)

(2)ひなの購入予約 : 全国平均 : 導入の 1 0.9 か月前 (最大 2 4 か月～最小 1 か月)

①東日本平均 : 導入の 1 1 か月前 (2 4 か月～3 か月)

②西日本平均 : 導入の 1 0.8 か月前 (2 4 か月～1 か月)

(3)成 鶏 の 飼 養 日 齢 : 全飼養羽数平均 6 4 4 日 (東日本 : 6 4 2 日、西日本 : 6 4 5 日)

①5 万羽未満 : 6 0 9 日 (東日本 : 6 0 6 日、西日本 : 6 0 7 日)

②5 ～ 1 0 万羽未満 : 6 2 7 日 (東日本 : 6 1 8 日、西日本 : 6 4 4 日)

③1 0 ～ 5 0 万羽未満 : 6 7 0 日 (東日本 : 6 5 8 日、西日本 : 6 8 6 日)

④5 0 万羽以上 : 6 9 4 日 (東日本 7 0 5 日、西日本 : 6 7 8 日)

(4)成 鶏 出 荷 後 の 空 舎 期 間 : 全飼養羽数平均 3 1.3 日、

①5 万羽未満 3 3.5 日 (最大 1 2 0 日～最小 0 日)

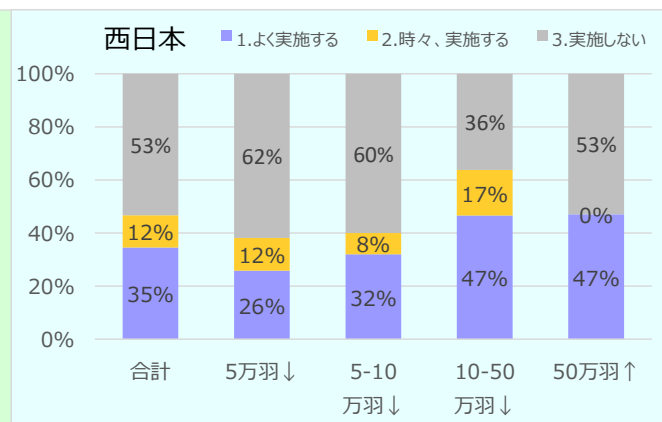
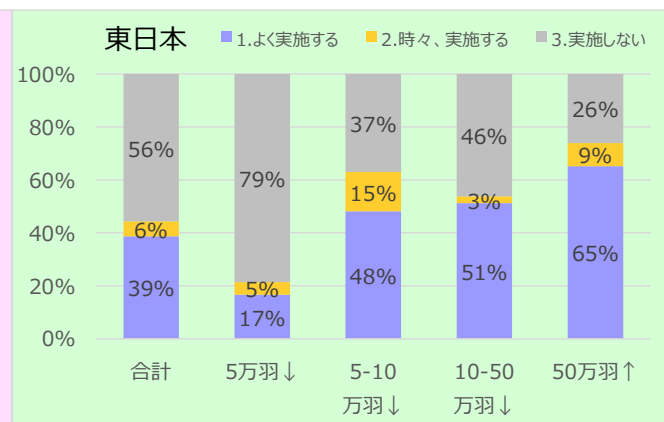
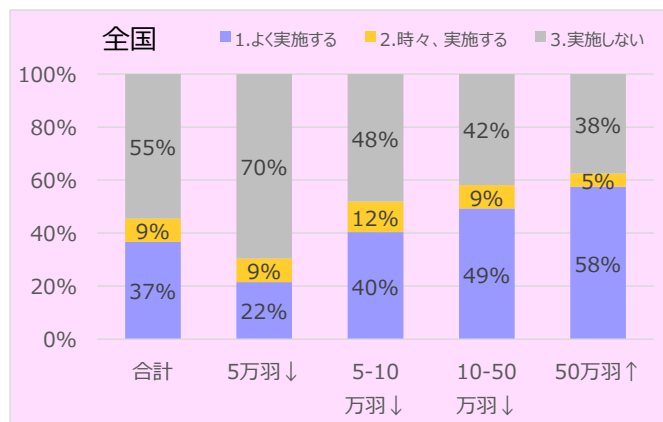
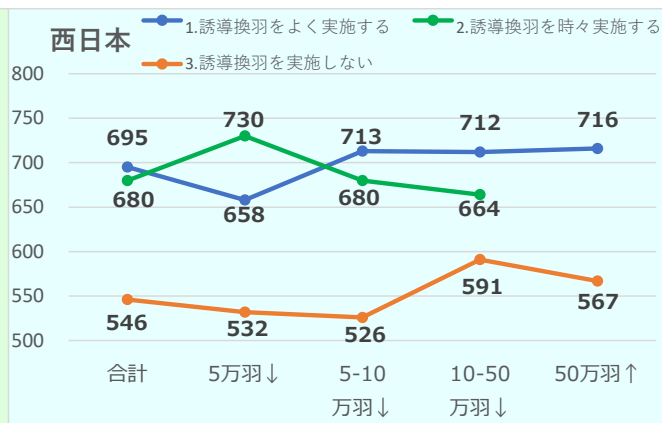
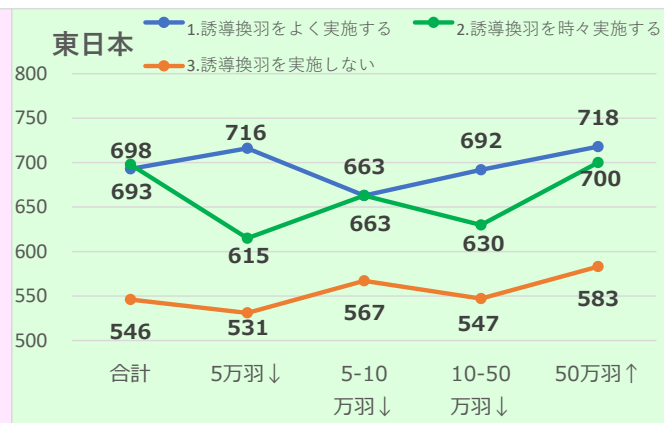
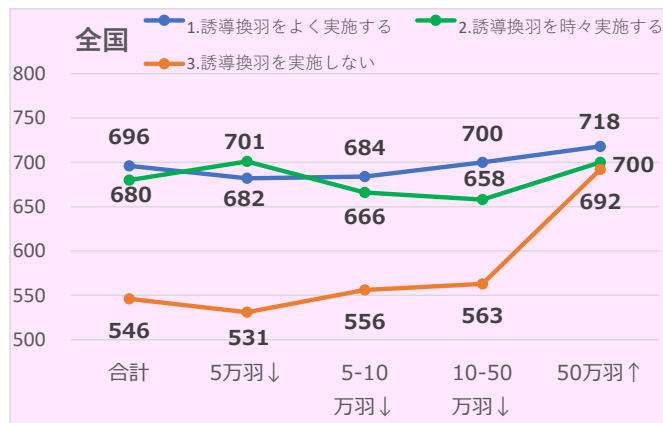
②5 ～ 1 0 万羽 3 2. 0 日 (最大120日～最小 3 日)

③1 0 ～ 5 0 万 2 9. 8 日 (最大 9 0 日～最小 1 0 日)

④5 0 万 以上 2 8. 2 日 (最大 6 0 日～最小 1 4 日)

4 成鶏の飼養期間と誘導換羽

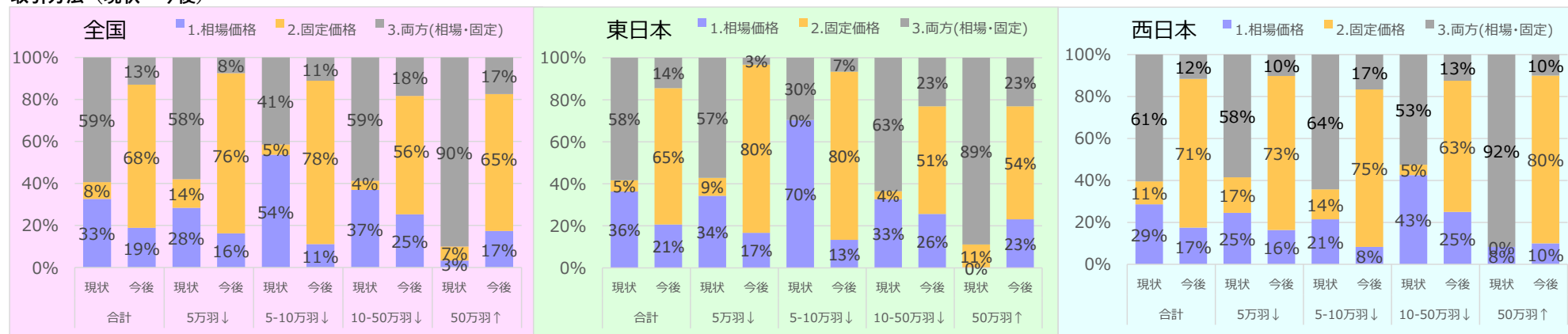
- 成鶏の飼養期間は、全国の飼養規模全体の平均では、「誘導換羽をよく実施する」696日>「誘導換羽を時々実施する」680日>「誘導換羽を実施しない」546日の回答となった。
- 誘導換羽の実施状況は、全国の飼養規模全体では、「誘導換羽をよく実施する」37%、「誘導換羽を時々実施する」9%、「誘導換羽を実施しない」55%の回答となった。
また東日本・西日本ともに飼養羽数5万羽未満では、**実施しないがそれぞれ79%・62%と最も高い割合**となった。



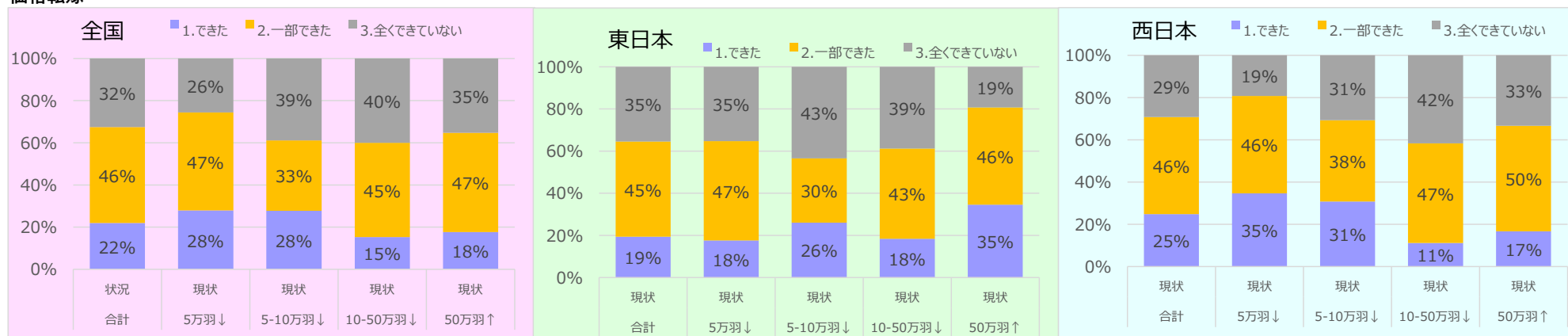
5 鶏卵の販売価格について[取引方法(現状・今後)、希望通りに価格転嫁できているか]

- 取引方法は、現状、全国の飼養羽数全体では、**相場価格が33%、固定価格が8%、両方が59%**で、今後増やしたい取引方法は、**相場価格が19%、固定価格が68%、両方が33%**となり、飼養羽数別においても、固定を増やしたい意向の回答となった。
- 価格転嫁については、全国の飼養羽数全体では、「**できた**」が**22%**、「**一部できた**」が**46%**、「**全くできていない**」が**32%**となり、「**できた**」および「**一部できた**」が**全体の68%**を占めた

取引方法（現状・今後）



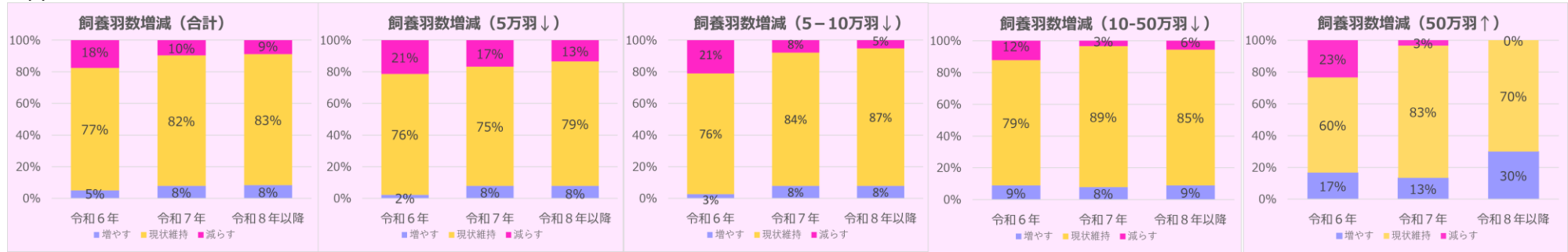
価格転嫁



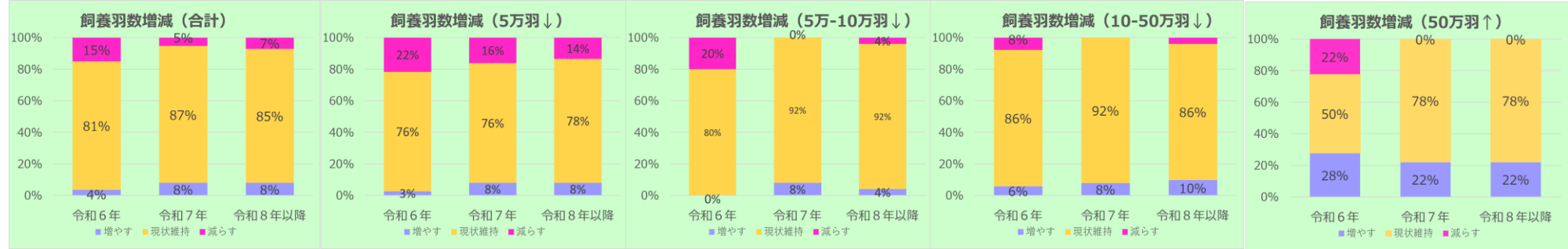
6 飼養羽数の増減予定

- 飼養羽数の増減について、全国の飼養規模全体では、「増やす」が、令和6年5%⇒令和7年8%⇒令和8年以降8%の回答となった。一方、「減らす」は、令和6年18%⇒令和7年10%⇒令和8年以降9%で、令和7年以降は「増やす」と「減らす」がほぼ同一割合となりほぼ現状維持の傾向となった。
- 飼養規模別では、50万羽以上で、「増やす」の回答が、令和6年17%⇒令和7年13%⇒令和8年以降30%と、使用羽数規模全体と比較して高い傾向となった。

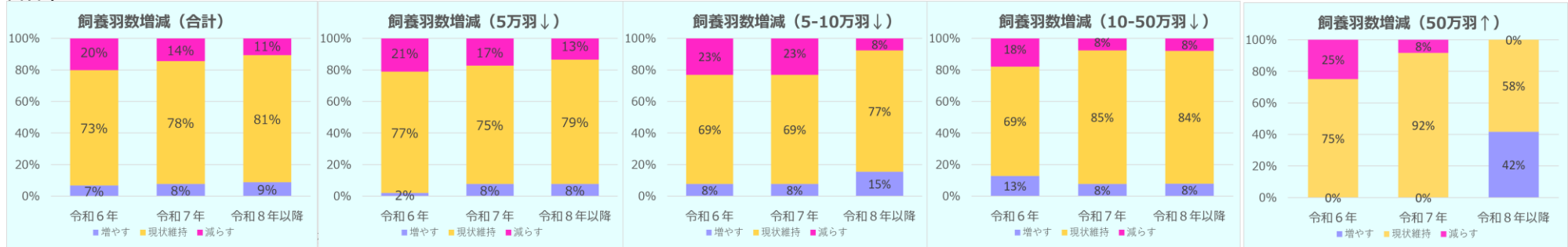
全国



東日本



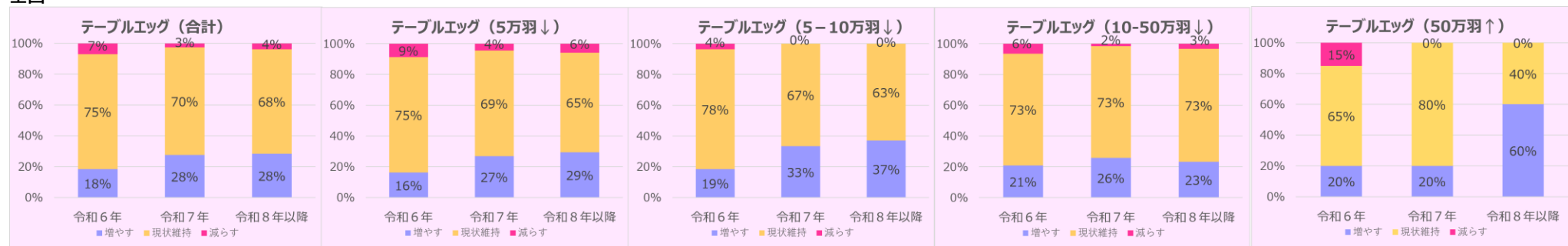
西日本



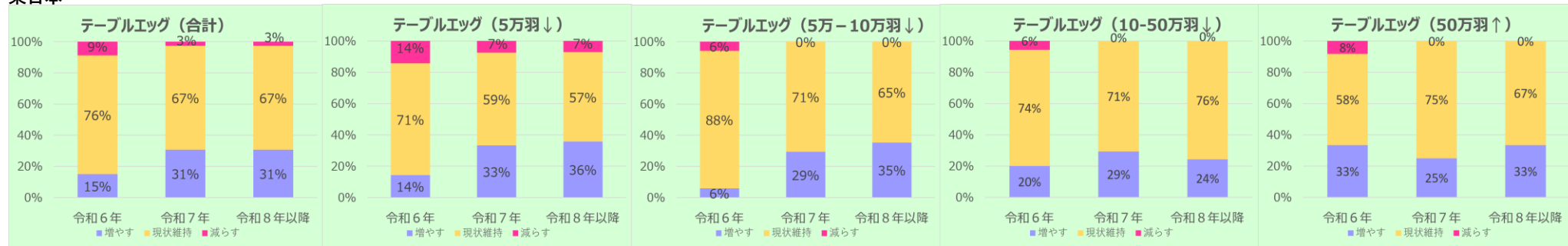
7 販売先の計画(テーブルエッグ)

- テーブルエッグ向け出荷について、全国の飼養規模全体では、「増やす」が令和6年は18%、令和7年は28%、令和8年以降が28%と増加傾向になった一方、「減らす」は令和6年7%⇒令和7年3%⇒令和8年以降4%と減少傾向となった。
- 地域及び飼養規模を問わず、「減らす」は令和6年が、「増やす」は令和8年以降が概ね最も多い回答割合となった。

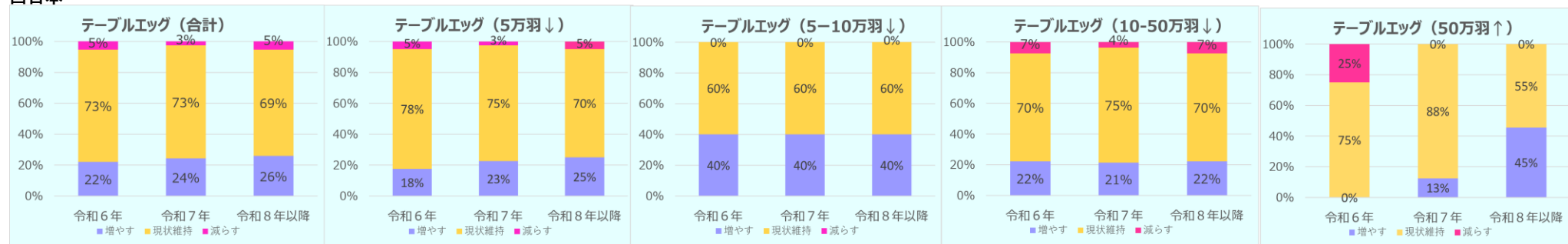
全国



東日本



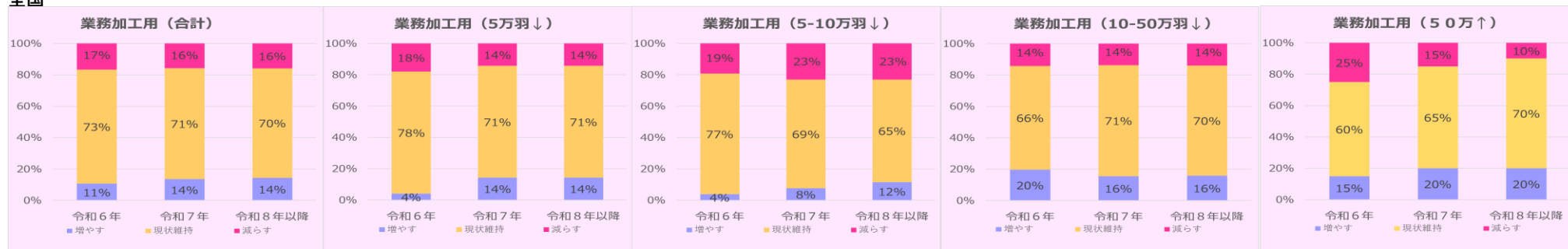
西日本



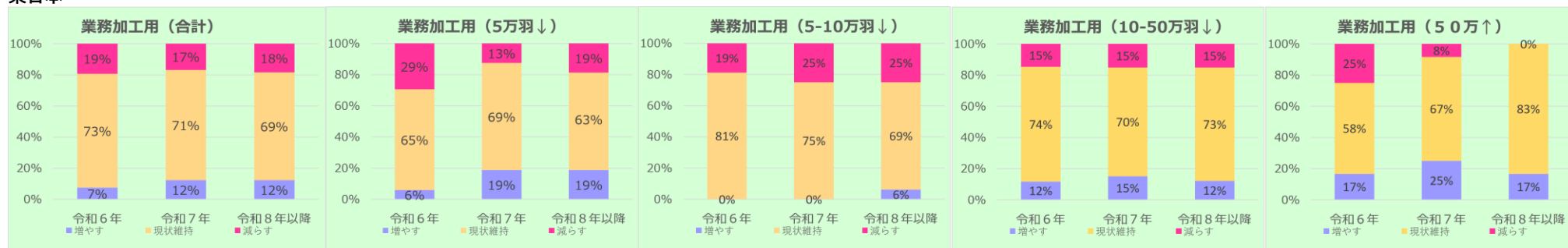
8 販売先の計画(加工向け)

- 加工向けへの出荷について、全国の飼養規模全体では、「増やす」が、令和6年11%⇒令和7年14%⇒令和8年以降⇒14%、「減らす」が令和6年17%⇒令和7年度16%⇒令和8年以降⇒16%と、全ての年で「増やす」よりも「減らす」が高かった。
- 飼養規模別では、10万羽以上の飼養規模において、業務加工用への出荷を「増やす」が、令和6年～令和8年以降の全ての年で10万羽未満よりも高い割合を占めた。

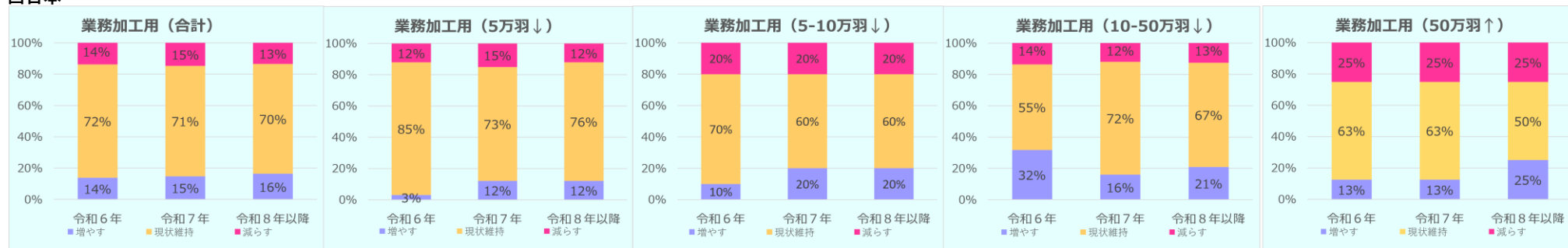
全国



東日本



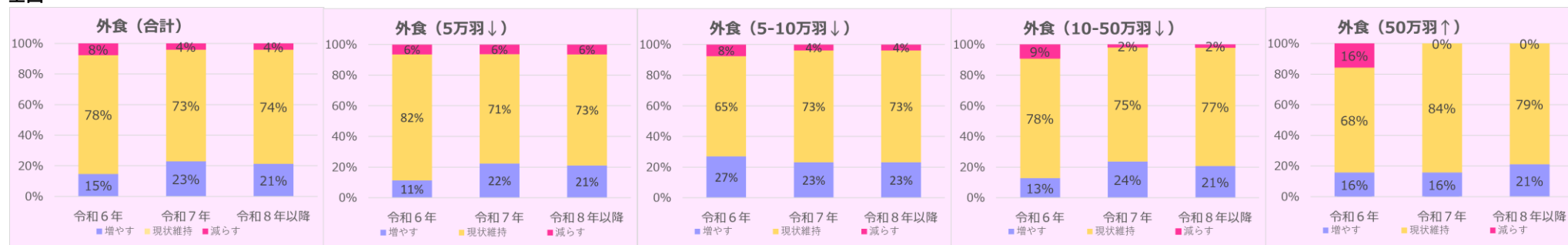
西日本



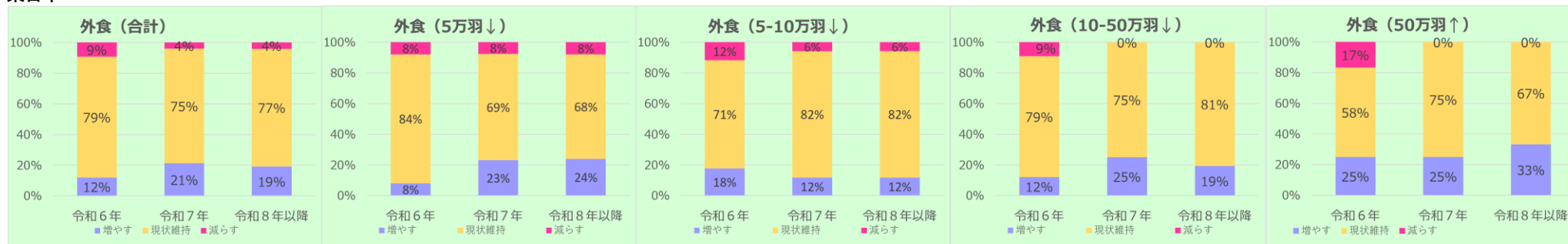
9 販売先の計画(外食向け)

- 加工用への出荷について、全国の飼養規模全体では、「増やす」が、令和6年15%⇒令和7年23%⇒令和8年以降21%、「減らす」が令和6年8%⇒令和7年度4%⇒令和8年以降4%と、全ての年で「増やす」よりも「減らす」が高かった。
- 飼養規模別では、50万羽以上において、令和7年以降で「減らす」の回答はなかった。

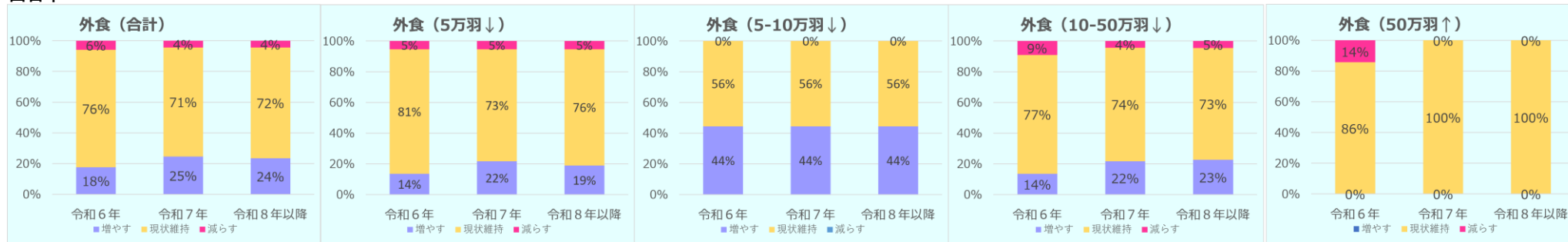
全国



東日本



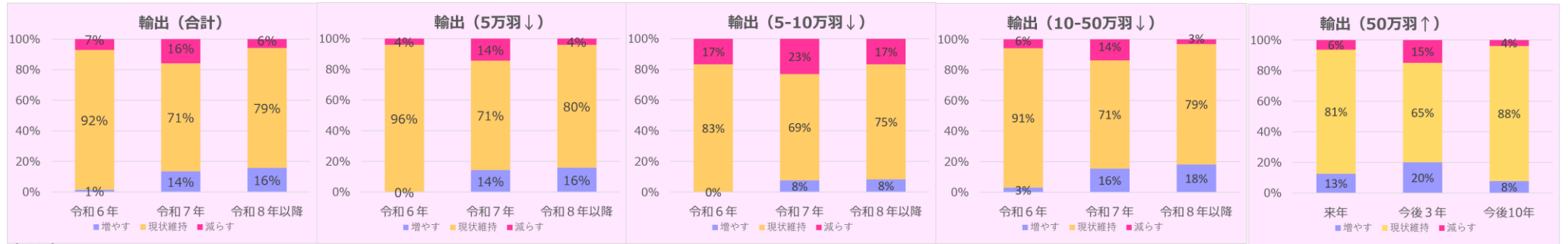
西日本



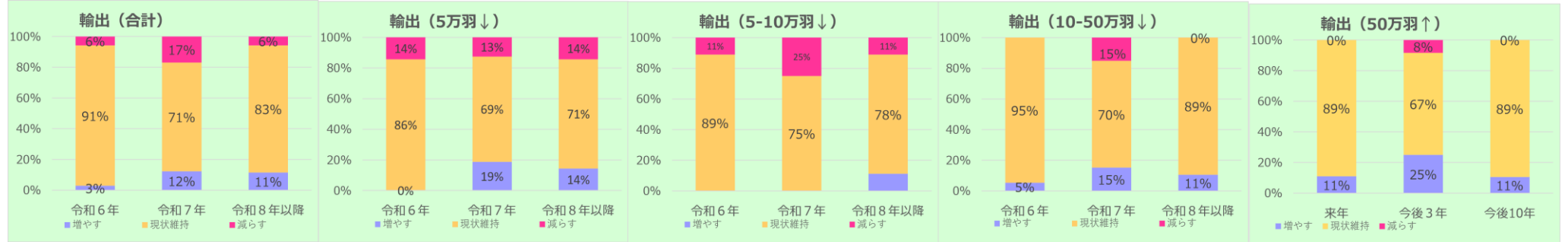
10 販売先の計画(輸出向け)

- 輸出向け出荷について、全国の飼養規模全体では、「増やす」が令和6年1%⇒令和7年14%⇒令和8年以降16%と、将来的に輸出を増加させる意向が多い回答だった。
- 飼養規模別では、10万羽未満では、概ね「増やす」よりも「減らす」の割合が高かった。

全国



東日本



西日本

